

事業&活動報告

千葉市民活動フェスタ2023 実行委員会進捗状況のご報告

「千葉市民活動フェスタ」は、千葉市における市民活動団体の交流・連携を深めるとともに、活動内容をPRして活動の推進を図ることなどを目的に、年一回開催しているイベントです。



今年4月に実行委員会を始動。6名の委員の皆様を中心に、企画・運営について議論を重ねています。これまでに決定した主な点は、以下のとおりです。

○テーマ：今年は **二刀流**
ヴォイドde交流・きぼーるdeマルシェ

○実施内容の概要：

- ・市民活動団体等の交流会の開催
- ・市民活動団体等による体験・相談・販売等の実施
- ・特設ウェブサイトによるオンラインコンテンツの発信

○開催日程・会場：

- ・2023年11月11日(土) 千葉市役所市民ヴォイド
- ・2023年11月18日(土) きぼーるアトリウム
(※特設ウェブサイトは11月5日から公開予定。)

2020年以降、オンラインを中心とした内容が続いていたフェスタですが、今年は「対面を基本とし、オンラインも活用する」という考え方で具体的な実施内容を検討中です。参加団体の募集要項などは、次号のちばさぼ通信でご案内できる見込みですので、どうぞお待ち願います。

ちばボランティア塾第2期進行中！第3期募集開始

「ちばボランティア塾」とは、現在ボランティアをしている方、これからボランティアをしてみたいと思っている方に向けて基礎的な事項を学んでいただく講座で、内容は障害者や外国人とのコミュニケーションや情報共有とSNSなど。現在、第2期全6回の講義の3回目が終了しました。



第3期は10月12日に開講、計6回で修了するカリキュラムです。一度は受けてみてほしい内容で構成されていますので、興味がある方は是非ご参加下さい。

日程▶2023年10月12日(木)から2023年12月21日(木)

時間▶19時から20時30分

会場▶千葉市民活動支援センター会議室

定員▶18名(お申込み先着順) 参加費▶無料

※15歳以上の方ならどなたでも参加できます。

Q&A Q:ちばさぼ内での飲食はできるようになりましたか？

現在、「会議室」と「談話室」ご利用時の各室内での飲食はともに可能となっております。両室内ではお飲み物と茶菓子など軽食の他、お打ち合わせ後にお弁当を食べながら懇親をするなどのご利用も可能となりました。ご利用やサービスの一部制限期間中は、ご不便をおかけいたしました。ご協力下さりありがとうございました。ボランティアテーブルと活動サロンはお飲み物が可能です。セルフカフェコーナーも再開いたしましたのでご利用ください。



ミニコラム

ちばさぼの風 vol.56 SDGsについて改めて基本から part 1

■ はじまりは8つの課題

SDGsというと、あの17色のリングを思い出しますが、その前段階がありました。そもそもの始まりは西暦2000年。21世紀を目前に、国連は新たな世紀(ミレニアム)に向けて、「国連ミレニアム宣言」を発表。これを受けて2015年までに達成すべき国際社会共通の目標として「ミレニアム開発目標」(MDGs)が示されたのです。

■ MDGsの8つの目標

1. 極度の貧困と飢餓の撲滅
 - ・1日1.25米ドル未満で生活する人を半減。飢餓を半減。
2. 普遍的初等教育の達成
 - ・すべての子どもたちに、男女の区別なく初等教育を。
3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
 - ・すべての教育レベルにおける男女格差を解消。
4. 乳幼児死亡率の削減
 - ・5歳未満児の死亡率を3分の2減少させる。
5. 妊産婦の健康の改善
 - ・妊産婦の死亡率を4分の3減少させる。
6. HIV/エイズ、マラリアその他の疾病の蔓延防止
 - ・HIV/エイズ、マラリア、その他の主要な疾病を阻止。



7. 環境の持続可能性の確保

- ・安全な飲料水と衛生設備を利用できない人々を半減。
- ## 8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進
- ・民間も協力し情報・通信分野の新技术を普及。

■ 残された課題

2015年の時点では、解決すべき多くの問題が残りました。**【貧困と飢餓】** 極度の貧困は残り、地域格差、性差も未解決。**【初等教育】** アフリカに多い未就学児童。半数以上が女の子。途上国では収入による就学の差も問題。**【ジェンダー】** 初等教育における男女の差は未解消。**【乳幼児死亡率】** 予防できる病気で死亡する子がまだ多い。**【妊産婦の健康】** 妊産婦死亡率の地域格差が大きい**【疾病の蔓延防止】** 性差による感染の不利、知識の未普及。**【安全な環境】** 清潔な水とトイレの普及がまだ不十分。**【情報技術】** インターネット普及にも地域や収入の格差。

■ MDGsからSDGsへ

MDGs最終年の2015年9月25日、問題解決のための新たな指標として、17の目標を定めた『持続可能な開発目標(SDGs)』が、国連総会で採決されました。

“誰ひとり取り残さない”を重要な柱とするSDGsについては、次回の記事で。

※本稿はunicefのサイトを参考にしました。 <https://www.unicef.or.jp/mdgs/>